

開催趣旨

今春から本格稼働するEBPM (Evidence-Based Policy Making) に向けて、昨年末に「EBPMアクションプラン」が策定されました。これは、知見に基づいて実施した事業を評価し、その結果を踏まえて改善することで、高い政策効果につなげることを目指しています。社会保障分野では、健康寿命の延伸の実現を測るアウトカム指標に、データヘルス計画の「共通の評価指標」が適用されました。これは、持続可能な長寿社会の構築のためのデータヘルス計画の役割と、データヘルス計画自体がEBPMの重要な基盤となることを示しています。このような政策動向を踏まえて、今回のシンポジウムでは、第3期データヘルス計画で取組むべきこと— 国民の健康課題を解決する保健事業の評価と知見抽出— について、東京大学「都道府県向けリーダーシップ・プログラム」に参加されている県・国保連・市による取組みを報告し、今後のデータヘルスの進化に資することを目的に開催します。

主催

東京大学 未来ビジョン研究センター データヘルス研究ユニット

共催

自治医科大学 地域医療学センター 地域医療学部門

開催概要

日時：2025年3月14日(金) 10:00-12:00

開催方法：Zoom ウェビナーによるオンライン配信

対象：都道府県、区市町村、健康保険組合など医療保険者、保険者団体、民間事業者、アカデミア等

定員：オンライン500名(定員になり次第、受付を終了します)

参加申込：要事前申込(参加無料)。下記参加申込フォームからお申込みください。

<https://ifi.u-tokyo.ac.jp/event/19352/>

※ご登録完了後、前日までに事務局より招待URLをお送りします。

お問合せ：東京大学 未来ビジョン研究センター データヘルス研究ユニット事務局

E-mail; dh-jimu@ifi.u-tokyo.ac.jp

2025データヘルス・シンポジウム 参加登録



プログラム

開会

[敬称略]

挨拶 自治医科大学 地域医療学センター 地域医療学部門 教授 小谷和彦

来賓 内閣府 副大臣 瀬戸隆一

政策動向 経済・財政新生計画(骨太方針2024)に基づくEBPMの強化
— 社会保障分野のEBPMアクションプラン— (仮)
内閣府大臣官房審議官(経済社会システム担当) 江浪武志

研究報告 保健事業の標準化に向けた知見抽出(富山県/山梨県/広島県/長崎県/大分県)
— 東京大学「都道府県向けリーダーシップ・プログラム2024」の成果より—
東京大学未来ビジョン研究センター 特任研究員 中尾杏子

実践報告 県・国保連と市町村が協創した取組み— 実践した際の苦労、得られたこと—
長崎県福祉保健部国保・健康増進課/長崎県国民健康保険団体連合会
山梨県福祉保健部国保援護課/上野原市市民課

講評; 厚生労働省保険局国民健康保険課 課長 唐木啓介

ファシリテーター; 東京大学未来ビジョン研究センター 特任教授/自治医科大学 客員教授 古井祐司

挨拶 東京大学未来ビジョン研究センター 特任准教授 井出博生

閉会

※プログラムは都合により変更になる場合があります。